

第6次東員町総合計画 効果検証委員会



OMIGOTOIN
健康活躍のまち 東員町

令和7年10月6日



OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

東員町総合計画の将来像

健康活躍のまち東員町

「おみごと！があふれる町へ」

総合計画P.10より

第6次東員町総合計画の将来像の実現に向けて、掲げられた重点施策として、令和6年度に実施した事業やイベント、取り組みに対して報告します。

2 重点施策

将来像の実現に向けて、東員町らしい施策の推進を目指し、重点施策を設定します。

健康で暮らせるまち

誰もが健康で暮らせるよう、フレイル※予防などの健康づくりを進めます。また健康的に活動できるよう、日常の移動手段に新しい技術を取り込んだ交通手段も含めて確保します。

1-1 健康づくりの推進

3-3 高齢者福祉の推進

9-3 公共交通網の維持・確保（総合戦略）



子育てがしやすいまち

子育て世代にとって安心して子育てができる環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めます。

2-1 子育て支援の充実（総合戦略）



稼げるまち

農業を核とした、新しいまちのブランドとなるような農産物づくりに取り組み、稼げるまちづくりとして農業の6次産業化を進めます。

7-1 農業の振興（総合戦略）

7-2 商工業の振興（総合戦略）



協力しあえるまち

まちづくりは行政だけで担えるものではありません。地域の人、企業の皆さん、NPO、ボランティアの方など様々な人々と協力、協働しながら進めます。また、地域間連携として広域的な連携も行いながらまちづくりを進めます。

3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進（総合戦略）



人生を豊かにするまち

文化やスポーツなどを通して、東員町らしさを生み出すまちづくりを進めます。

6-3 文化力の向上（総合戦略）

6-4 スポーツの振興（総合戦略）



総合計画P.20、21より

東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略にも掲げる施策は（総合戦略）と表記しています。

※注釈

■フレイル

健康から要介護へ移行する中間の段階で具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指す。

重点施策その1 健康で暮らせるまち

健康で暮らせるまち

誰もが健康で暮らせるよう、フレイル※予防などの健康づくりを進めます。また健康的に活動できるよう、日常の移動手段に新しい技術を取り込んだ交通手段も含めて確保します。

1－1 健康づくりの推進

3－3 高齢者福祉の推進

9－3 公共交通網の維持・確保（総合戦略）



健康で暮らせるまち（実施事業）

・令和3年度から始まった「おでかけ元気パス」の1つの取り組みとしてオレンジバス運賃が半額になります。

令和3年度 16,565回

令和4年度 17,496回

令和5年度 20,165回

令和6年度 20,994回利用されました。

（令和6年度発行者 469人）

・令和5年10月から中部公園 パークゴルフ場の半額利用が出来るようになりました。



東員町おでかけ元気パスの特典の追加について
おでかけ元気パスの提示でパークゴルフの利用
実質半額キャンペーン（1回利用につき1回無料）

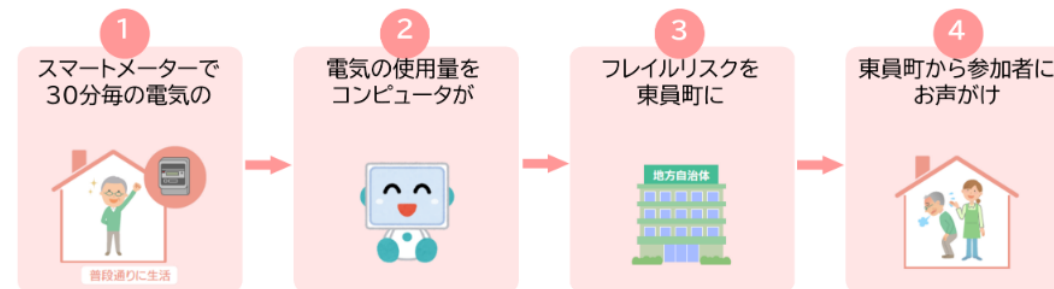
対象者	75歳以上の方 65歳以上75歳未満の方で運転免許証を返納した方
利用方法	①中部公園管理棟にて利用券を購入します ②管理人が『元気パス』を確認し、利用券にスタンプを押し返却します ③次回『元気パス』の確認とスタンプを押された利用券でパークゴルフ利用可能です
ポイント	※ゴルフ用具のレンタルをご希望の方は、別途レンタル料が必要です ※1回券は1回券、1日券は1日券としてご利用が可能です 1日券を1回券2枚などにご変更はできません ※元気パスをお忘れの方は年齢が確認できるもの（健康保険証など）か、運転経歴証明書のご提示でサービスをご利用いただけます ※元気パスを紛失された方は、健康長寿課での再発行お願い致します ※押印した利用券を紛失された場合は再度ご購入していただく必要があります（再発行不可）

健康で暮らせるまち（実施事業）

令和元年度から、電力スマートメーターから収集した電力データをAI（人工知能）分析することで、高齢者のフレイルリスクを継続的に把握し、フレイルの早期発見や個別的支援の効率化を推進する実証実験を実施。

令和5年度からフレイル予防事業として、ひとり暮らしで65歳以上の健康な人を対象に、電力使用量からフレイルを早期発見するサービスを無料で実施しています。

事業の流れ



実証参加者の声



※フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階の状態であり、予備能力低下により身体機能障害に陥りやすい状態のことの総称。



OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

重点施策その2 子育てがしやすいまち

子育てがしやすいまち

子育て世代にとって安心して子育てができる環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めます。



2-1 子育て支援の充実（総合戦略）

子育てがしやすいまち（実施事業）

東員第一中学校建設事業

令和9年4月の開校を予定
する新東員第一中学校の建
設が令和6年7月から開始し
ました。



7/23 東員第一中学校建設事業 起工式

令和9年4月の開校を予定する新東員第一中学校の建設工事の安全と成功を願い、設計・施工を請け負う鴻池・梓・エイト日本技術開発共同企業体が起工式を行いました。式には、水谷町長など関係者が出席し、水谷町長は「町の旗艦校になる重要な学校です。安全に工事が進み、期日までに完成するようお願いします」と話していました。

[とういんプラムトピックスYouTube▶](#)



子育てがしやすいまち（実施事業）

七世 松本幸四郎丈の生誕の地である東員町。後世に日本古来の伝統芸能「歌舞伎」の伝承を目的とした「こども歌舞伎」を開催。28回目となる公演を実施。「歌舞伎」の伝承だけではなく、子どもたちが「伝統文化」に触れる貴重な機会となっています。



6/29 第28回東員町こども歌舞伎公演

子ども役者が大人顔負けの演技を披露する、東員町こども歌舞伎公演が、総合文化センターひばりホールで行われました。今年の演目は「弁天娘女男べんてんむすめのおの 白浪しらなみ 浜松屋はままつやの場ば」と毎年お馴染みの「白浪五人男しらなみごにんおとこ 稲瀬川いなせがわ勢揃いせいぞろいの場ば」です。子どもたちがこれまでの練習成果を堂々と披露すると、観客席からは盛大な拍手や掛け声が贈られました。

とういんプラムトピックスYouTube▶





OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

重点施策その3 稼げるまち

稼げるまち

農業を核とした、新しいまちのブランドとなるような農産物づくりに取り組み、稼げるまちづくりとして農業の6次産業化を進めます。

7-1 農業の振興（総合戦略）

7-2 商工業の振興（総合戦略）



稼げるまち（実施事業）

・東員町中部公園のマメマチ CAFEがリニューアルオープン。創作中華料理の名店「美味旬菜 饗庭」が手掛けるお店がオープン。連日にぎわいをみせています。

・KITTE名古屋イベントスペースで東員町PRイベントを実施。町内事業者の商品販売などを行いました。



9/8 マメマチCAFE リニューアルオープン

中部公園にあるマメマチCAFEがリニューアルオープンしました。今回新たに、創作中華料理のお店「美味旬菜 饗庭」が手掛ける「Chinese kitchen Meg Aiba」と城山地区でお菓子を販売していた「irucakitchen」が「irucakitchen cafe」として出店しました。詳しくは「おみごと！PRESS11月号」で紹介します。

[とういんプラムトピックスYouTube▶](#)



9/15 東員町PRイベント SHITTE TOIN in KITTE名古屋

都市部の人に東員町について「SHITTE（知って）」もらうおうと、KITTE名古屋で東員町PRイベントを開催しました。緑あふれる中部公園をイメージした会場では、町のPRブースや町内事業者の商品販売、東員町産きな粉を使ったかき氷やポップコーンの試食も行われ、終日とても多くの人でにぎわいをみせていました。

[とういんプラムトピックスYouTube▶](#)



稼げるまち（実施事業）

大豆や米粉を使ったお菓子や
こだわりの工芸品などを中心に
「東員町特産品」として認定して
います。

特産品認定商品は、令和6年
度末時点で28品目となりました。

東員町の特産品は、
全部で28種類あります！

東員町には地域の事業者の皆さんの創意工夫にあふれた逸品が多くあります。大豆や米粉を使ったお菓子、こだわりの工芸品など、ラインナップはさまざま。町では、それらを特産品として町内外に広めていこうと「東員町特産品認定制度」を設けています。今回は特産品について紹介します。

産業課 主事
小野 綾子さん

店舗住所 定休日 営業時間 電話番号 自店舗以外の販売店

大豆と米粉を使った
東員町りん版
ころりん焼きどーなつ

●ラ・ポール東員店
〒大木3955-1
☎ 8:00～19:30
☎ 76-4177
☎ 1月1日

焼き方にこだわった
菓子職人が作るきな粉

親戚から製造までこだわった
さつまいもを堪能できる自慢のお菓子

さつまいも菓子
●まこと商店
〒北大社1323-9
☎ 73-7174
☎ 11:00～16:00
☎ 月曜日（営業時は臨時休業あり）

※さつまいもアーモンドタルトは通年販売。その他は季節に合わせて販売。詳しくはホームページから。

さつまいもアーモンドタルト

米粉食パン

いずみ味噌

●Cafe&Rest IZUMI くらがねもち
〒山田1546-1
☎ 9:00～16:00
☎ 84-6885
☎ 日曜日、祝日

真心込めて作る
体に優しい特産品

大豆のミルクハース
●NINE BAKERY
〒市尾西2-31-8
☎ 82-5484
☎ 10:00～18:00
☎ 日曜日、月曜日

ほんのり甘くて柔らかい。
サンドイッチやバター・
ジャムとの相性も抜群！

大豆ミート 食べる坦々

●Meg Alba
〒北大社1634
（中部公園内マメマチCAFE）
☎ 9:00～17:00
☎ 080-4530-6414
☎ 水曜日

大豆を使った
絶品創作中華料理

豆 in ぶりん

豆 in ショコラ

大豆と米粉を使った
自慢の一品

●いるかきっちゃんカフェ
〒北大社1634
（中部公園内マメマチCAFE）
☎ 7:00～18:00
☎ 090-7959-1258
☎ 水曜日（臨時休業あり）

米粉入食ぱん

米粉とやさしい
のキッシュ

重点施策その4 協力しあえるまち

協力しあえるまち

まちづくりは行政だけで担えるものではありません。地域の人、企業の皆さん、NPO、ボランティアの方など様々な人たちと協力、協働しながら進めます。また、地域間連携として広域的な連携も行いながらまちづくりを進めます。

3-1 主体的で特色のある
地域づくりの推進（総合戦略）



協力しあえるまち（実施事業）

・地域づくりの先進地として知られる長野県飯田市の方を招き、研修会を行いました。参加した町民が抱える自治会の課題などに対し、意見交換を行いました。

・ヴィアティン三重の選手を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。



9/27

長野県飯田市来町研修

飯田市で地域づくりに携わる6人が来町し、有志で集まった東員町民と研修を行いました。この日は飯田市の地域づくりの活動について事例発表があった後、意見交換会が行われました。町民が自治会で抱える課題などの話をすると、飯田市の人たちは自身の経験や取り組みを踏まえた考えや解決策を話していました。

[とういんプラムトピックスYouTube▶](#)



6/26

オレンジでつながる 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターの証オレンジリングとヴィアティン三重のチームカラーがともにオレンジという縁もあり、町職員がヴィアティン三重トップチームの選手13人を対象に認知症サポーター養成講座を行いました。参加した野垣内 俊選手は「認知症の人に出会ったら、自分や周りの人も含めて声掛けをしたい」と話していました。

[とういんプラムトピックスYouTube▶](#)



協力しあえるまち（実施事業）

・東員町シルバー人材センター会員による町内幼稚園・保育園の草取りが行われました。

・東員町大学生（当時）が立ち上げた無償学習支援教室「To in ひばり教室」が開催されました。



10/5 東員町シルバー人材センター会員 町内幼稚園・保育園で奉仕作業

東員町シルバー人材センターについて知ってもらおうと、同センターの会員が、町内各幼稚園・保育園の草取りを行いました。この活動は、10月のシルバー人材センター普及月間に合わせて毎年行われています。翌週に幼稚園・保育園の運動会が行われることもあり、三和幼稚園・みなみ保育園で作業をした会員11人は、園児たちに喜んでもらえるよう丁寧に草取りをしていました。



8/14 To in ひばり教室

大学生や高校生が勉強を教えてくれる「To in ひばり教室」が、イオンモール東員イオンホールで開かれました。この教室は子どもたちの学習をサポートする無償学習支援教室で、イオンモール東員も協力しています。この日参加した子どもたちは、夏休みの宿題で分からないところがあると、丁寧に教えてもらっていました。

[とういんプラムトピックスYouTube▶](#)





OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

重点施策その5

人生を豊かにするまち



人生を豊かにするまち

文化やスポーツなどを通して、東員町らしさを生み出すまちづくりを進めます。

6-3 文化力の向上（総合戦略）

6-4 スポーツの振興（総合戦略）



人生を豊かにするまち（実施事業）



6/29 第28回東員町子ども歌舞伎公演

子ども役者が大人顔負けの演技を披露する、東員町子ども歌舞伎公演が、総合文化センターひばりホールで行われました。今年の演目は「弁天娘女男白浪 浜松屋の場」と毎年お馴染みの「白浪五人男 稲瀬川勢揃いの場」です。子どもたちがこれまでの練習成果を堂々と披露すると、観客席からは盛大な拍手や掛け声が贈られました。

とういんプラムトピックスYouTube▶



12/8 第36回東員「日本の第九」演奏会

町の師走の風物詩、東員「日本の第九」演奏会が総合文化センターで行われ、510人が訪れました。演奏会では、公募で集まった75人の団員が、愛知室内オーケストラの演奏にあわせて町民歌や日本語の第九を披露しました。観客は、オーケストラの圧巻の演奏と団員の迫力ある歌声に魅了され、演奏会は大盛況となりました。

とういんプラムトピックスYouTube▶



11/23・24 東員ミュージカル第12弾 「戦場のウェディングドレス ～物語は約束の場所で～」

演劇集団ローカルスーパースターズとオーディションに合格した町民の皆さんと一緒に創り上げる東員ミュージカル。その第12弾が総合文化センターで公演されました。

今回のミュージカルは、未来の戦時下における結婚相談所を舞台にしたもので、戦争の話ではなく、東員ミュージカルお馴染みの、涙あり、笑いありの公演でした。観劇に訪れた人たちは、17人の出演者が繰り広げる歌やダンスに魅了され、ミュージカルの世界に引き込まれていました。

とういんプラムトピックスYouTube▶



・東員町の三大文化行事は開催回数を重ねていくごとに地域の方に親しまれ、文化力を醸成しています。

人生を豊かにするまち（実施事業）

・ヴィアティン三重ホームゲームにおいて花火フェスタが開催され、2,000人を超えるサポーターがLA・PITA東員スタジアムへ集まりました。

・とういんスポーツフェスタ with Veertien三重では、ヴィアティン三重のトップ選手によるサッカー教室が行われました。



9/14 ヴィアティン三重ホームゲーム
花火フェスタ

JFL第20節ヴィアティン三重対ソニー仙台FCの試合が、LA・PITA東員スタジアムで行われました。この日はハーフタイムに花火が打ち上げられたこともあり、多くの観客が詰めかけ、間近で見る花火を楽しんでいました。試合は1-1と引き分けでしたが、1点ビハインドの後半に同点に追いつくと、サポーターたちは一丸となって、ヴィアティン三重の選手たちに熱い声援を送っていました。



11/4 とういんスポーツフェスタ
with Veertien 三重

LA・PITA東員スタジアムでとういんスポーツフェスタが開催されました。今年は、NTN陸上部の選手による走り方教室などが行われ、トップ選手に走り方を教えてもらおうと、大勢の子どもたちが参加していました。また、サッカー教室では、子どもたちがヴィアティン三重の選手と試合を行い、一生懸命ボールを追いかけていました。

とういんプラムトピックスYouTube▶

